

提出順	5	発言順	5	令和 元 年 8 月 2 / 日
				午前・午後 11 時 6 分受領

(3 枚中No. 1)

令和 元 年 8 月 2 / 日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員 小 松 芳 樹

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 元 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	20 分
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☒ 財政部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☒ 農林部 ☐ 商工観光部 ☐ 都市建設部 ☒ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	安定した自主財源の確保と、経常経費の削減について		
質問の要旨（具体的に記載してください）			
1. 市民税・固定資産税率の見直しについて ・新市発足し15年目となるが、一度も税率改正していない。この15年で社会情勢は変わりこの3年で納税額も着実に上がっている中、税率の検討はされたか。地方交付税は段階的に減少するのが原因で下げられないのか伺う。 2. 確実な収納の施策について ☐口座振替とコンビニ納付 ・平成30年度の決算報告では、口座振替が50%に届いていない。滞納や不納欠損のリスク回避もできることから、更なる推進は。 3. 光熱水費の節約について ・平成29年10月に新電力に切り替え、30年決算数字から見て削減効果はどのくらいか。 ・低電圧の施設についての切り替え計画は。 4. 普通財産の貸付と行政財産の使用料について ・貸付料・使用料の改定は定期的に見直しているか。（消費税増税対応は） ・行政財産から普通財産への切り替えの可能性について ・公共施設目的外使用料の考え方			

提出順	5	発言順	5	令和 元 年 8 月 2 / 日
				午前・午後 11 時 2 分受領

(3 枚中No. 2)

令和 元 年 8 月 2 / 日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員 小 松 芳 樹

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 元 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☒ 財政部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☒ 農林部 ☐ 商工観光部 ☐ 都市建設部 ☒ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	安定した自主財源の確保と、経常経費の削減について		
5. 公売の実績と特に不動産の処分について ・ 処分すべき物件かの判断基準 ・ 適正価格の判断基準はどこで誰が行っているか			
6. 公共施設の完全民営化に向けたプロセス ・ 各施設の決算報告から見えてくること ・ 国からの補助金で建設された施設の対応と今後の計画 ・ 市の出資 50%未満の施設についての決算報告の公開は			

提出順	5	発言順	5	令和 元 年 8 月 2 / 日
				午前・午後 11 時 6 分受領

(3 枚中No. 3)

令和 元 年 8 月 2 / 日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員 小 松 芳 樹

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 元 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 財政部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☒ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光部 ☐ 都市建設部 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	健康で生きがいのあるまちづくり		
質問の要旨（具体的に記載してください） 1. 市歌体操の普及と実践 ・ 始業前に全職員で実施してはどうか。 ・ 教育現場での普及は。 ・ 区長会等を通じて多くの市民への普及は。 2. 市が実施する健康診断の検診率の向上と、若年者検診について ・ 糖尿病の重症化が減少できたことと検診率アップとの関連は。 ・ 若年者検診を増やすために、新たなメニューは。 3. 骨髄バンクドナー助成金制度の実施時期について ・ 平成 31 年 3 月の一般質問で前向きな答弁があったが、補正をしてまで早められないか。			